

---

◎町長あいさつ

○議長（藤井 要君） 申し上げます。

町長から発言を求められておりますので、この際発言を許します。

○町長（長嶋精一君） 令和元年松崎町議会第4回定例会の閉会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

今回の12月定例会に、私どもが提案しました案件のうち一般会計補正予算500万円については、残念ながら否決されてしまいました。私はこのままでは、より停滞してしまうという危機感から、町長に就任したわけでございます。今回の500万円の否決については、不信任を突きつけられたと同じ心境でございます。以前の議会を思い出しました。町民の皆様は果たしてどのように思うのでしょうか。非常に残念でなりません。私どもは、瑕疵があったわけではございません。それは、皆さんに・・皆さんっていうか、はっきり申し上げたいと思います。

以上で私の閉会の挨拶といたします。

○議長（藤井 要君） 申し上げます。

佐藤教育長から発言を求められておりますので、この際発言を許します。

○教育長（佐藤みつほ君） 長嶋精一町長の提案について、議会の同意を得、松崎町教育長に任命されましたこと、大変光栄に思います。誠にありがとうございます。

私が常に意識している用語の中に、不易と流行、変容が2つ大きくあります。教育用語であります。昨日、プログラミング教育のことについて、お話し戴いたり、お話ししたところが流行の部分。不易とはやはりずっと引き続けなければいけないこと。こんなこと不易と流行を大事にしています。もう1つ、変容です。変わる容、これを教育用語で、私たちは、常に学び、常にふれあい、常に語り合い、そして成長していこうということがスローガンとしてあります。大人も子供も学ぶことや考えることによって、いろいろな知恵が出てくるということがあります。この不易と流行ということを中心にしながら、いままで2年間、在職でしたけれども、勉強させていただき、今後こんなことをやって見たいということも少しずつ見えてきました。皆さんにいつも、どんな時でも力になっていただきましたので今後ともよろしくご指導、ご支援のことよろしくお願ひしたいと思ひます。ご挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

○議長（藤井 要君） 以上で閉会いたします、ご苦勞様でした。

(午後 3時35分)